



## 構築力に大事なものはチームワーク

チームワークという、ありふれた言葉になってしましますが、構築力にとって一番重要なものは、これだと信じています。一人の力で成し遂げられないことも、チームが一丸となり互いに補いあって切磋琢磨することで素晴らしい力を発揮し、構築できるのです。自らの力を信じるだけでなく、仲間の力を信じてあげることができてこそ初めて、「満足できる仕事の成果」につながるのです。

お客様が当社にさまざまなシステムを安心してご依頼していただけるのも、結局はチームワークの強さにあるのです。ひとりひとりの責任と自覚が積み重なってチームワークとなる。しかし、それは1+1ではなく、ときには、何倍もの力となるのです。2009年もアイロベックスの構築力を生かして頑張ります。

代表取締役 杉山 淳子

## 初詣

1月5日、新年最初の行事として、花園神社へ全員で初詣へ行ってきました。今年は少し長い休暇となり、皆がそれぞれ気力の充電をしっかりとってきたようです。

アイロベックスを構築しているこのメンバーたちが、今年もまた大きなことを、そして熱いことを成し遂げていきます。大いに期待してください。



## スター社員賞・新人賞

忘年会では2008年度スター社員賞、新人賞の表彰が行われました。選ばれた3名の喜びの声をお伝えします。

スター社員賞に選ばれたことを励みに頑張ります。

2008年度スター社員賞 軽部

3回目の受賞。これで殿堂入りかもしれません。

2008年度スター社員賞 加藤



表彰を謙虚に受けとめ、精進していきたいと思っています。

2008年度新人賞 赤羽



## カタログとWEBを自動で作るシステム

### CMS+AD for School 販売開始

CMS +AD for School は、カルチャースクール・学校様向けの、講座案内を一元管理するコンテンツマネジメントシステムです。これまで、Webサイトと印刷物は、それぞれ違う業者に発注するのがセオリーでしたが、講座情報の管理が複雑化し、面倒な作業を増やしていました。そこでデータを一元管理し作業時間短縮・費用削減を実現しました。

講座情報の登録は1回だけで、公開用Webサイト・モバイル用サイト・講座個別チラシ・カタログを生成することができます。講座情報登録はWebサービスで登録できるので、Web制作会社に講座情報の登録を依頼する必要がなくなりました。また、カタログは、Adobe InDesign+自動組版ツールで誰でも簡単に作成できるため、印刷業者に依頼する必要がなくなりました。大幅な費用削減につながることは、カルチャースクール・学校を運営されている方にはよく理解いただけることだと思います。

また、本製品を利用すれば、作業時間短縮・費用削減だけでなく、常に最新の情報を、タイムラグなく公開することができるので、お客さまへのサービスの向上にもつながります。例えば、講座の日時に変更があった場合、講座情報を修正すれば、すぐに公開用Webサイト・モバイル用サイト・講座個別チラシ・カタログへ反映することが可能です。Web制作会社や印刷会社に訂正依頼を出して数日待っていたら、その間にお客さまがWebサイトやカタログを見て連絡してくるかもしれません。そのようなことを心配する必要がなくなります。

ご興味をもたれた方は製品情報サイトをご覧ください。  
<http://www.ilovex.co.jp/products/CMSADforSchool/>



## ワークグループ(WG)紹介

業務でもない、チームでも部でもない。有志で集まったメンバで構成され、幅広く活動していくグループです。今月は、プロジェクトマネジメントチームとフレームワークチームを紹介します。

### プロジェクトマネジメントワークグループ (PMWG)

#### PMWG リーダー 前田 信次

プロジェクトマネジメントワークグループ(PMWG)では、  
・PMP(Project Management Professional) 取得奨励  
・プロジェクトの人的マネジメント、コストマネジメントのための仕組み整備  
・プロジェクトのリスクマネジメントとリスクのナレッジ化という3つのポイントを軸に活動しています。

PMWGはPMBOK(Project Management Body of Knowledge)をベースとしています。しかし、規模の大小や、部分的な請負、工程別の請負などプロジェクトとその参加スタイルに合った形を目指しています。それぞれに最適なプロジェクトマネジメントを過不足なく行えるような仕組みを整備していこうと日々試行錯誤しています。もちろん、開発会社としての強みを生かした、マネジメントツールの開発なども行っていると考えています。

同時に個々のマネジメントのスキルアップも推進していきます。弊社のプロジェクトマネージャーに仕事を依頼していただければ、スキルの高いマネージャーが、PMWGの支援というバックボーンの下、質の高いプロジェクトマネジメントを行ってまいります。

特に、リスクの高いプロジェクトや、建て直しが必要なプロジェクトへの途中参加に是非ご指名ください。そういったプロジェクトでこそ、最も弊社の力が発揮できることでしょうか。



#### PMWG 古郡 孝祐

PMWGは、プロジェクトマネジメントの仕組みを「社内で作る」ことを目的としています。そのため、PMBOKから負荷が低く、かつ管理・コントロールしやすいようなプロセスを業務の規模に合わせて取捨選択できるようにしたいと思っています。

また、プロジェクトのメンバにもPMBOKの精神を理解してもらうためには、仕組みを明文化するだけでなく教育も必要だと感じています。PMの主要な考え方であるPDCAサイクルを回すという視点からいうと、誰もがプロジェクトの計画を作ることができ、そして結果を測れることが必須となります。

やるべきことは多いのですが、アイロベックスの明日のために頑張っていきたいと思っています。

## アイロベックスチームマイナス6% HP公開

アイロベックスの「チームマイナス6%」の活動を沢山の人が知っていただきたい!ということでHPを公開しました。このHPは2008年度の新人が一丸となり作成しました。内容面、デザイン面と悩みましたが、アイロベックスらしい内容になったのではないかと考えています。

社内でのごみ削減や節水などの活動内容の紹介に加え、社内でエコに熱心な人を紹介する「今月のエコ社員」、エコに関する問題に答えてエコ度をチェックする「エコ度チェック」、社員がエコについて書く「ぶちエコブログ」とコンテンツが盛り沢山です。このHPを通して少しでも私たちのエコ活動を知っていただければ、と思います。



<http://www.ilovex.co.jp/team-6/>

私たちが  
作りました!

## フレームワークワークグループ

(FWWG)

### FWWG リーダー 加藤 泰伸

フレームワークワークグループ(FWWG)は、ITプロフェッショナル部のアプリケーショングループと、ソフトウェア開発部の標準化チームの両リーダーで結成したWGです。

メンバは、日常のシステム構築業務を通じて、アプリケーションを構築する際に発生する問題点にアンテナを張り、それらを改善する方法がないかを常に試行錯誤しています。つまりWGの目的は、社外にもアピールできるフレームワーク(開発基盤)の構築です。

これまで社内にはフレームワークが存在していましたが、社内限定色が強く、社外にアピールするという点が弱かったです。今後は、開発生産性を向上する仕組みの強化も進めていきますが、アピール用にもデモンストレーション可能な機能の強化や、ミドルウェアとの連携機能の強化を進めていきます。

当時は、Javaベースのフレームワークを中心に強化を進めていきます。フレームワークの名称も決まりました。

その名も「bamboo」、日本語訳すると「竹」です。

「竹」は、非常に生命力・成長性に優れた植物です。それにあやかり、常に進化し続けるフレームワークであってほしいと願いをこめて名前をつけました。



### FWWG 小佐野 貴久

フレームワークは開発に欠かせないものだと思います。生産性の向上、品質の向上はもちろんの事、会社独自のフレームワークを構築することにより、社外へのアピールにもなると考えています。

フレームワークの構築は非常に困難です。作ったら終わりではなく、よりエレガントなフレームワークを作り上げていくには、流行の手法を取り入れたり、新しい技術に対応したりと常に改善が必要だからです。

現在は「bamboo」と名付けられたJavaのフレームワークをメインに活動を行っていますが、弊社は.NETやPHPでの開発経験、ノウハウも充分にありますので、.NET、PHPでの第2、第3の「bamboo」が誕生する日も近いでしょう。まさに竹!と言われる位にフレームワークを成長させていきたいと考えています。

FWWGの長である加藤リーダーは、プログラムを愛してやまない人です。プログラムに対する考えは鬼のように厳しく、「プログラムに対してポリシーを持つ」という教えを常日頃から叩きこまれています。フレームワークに対してもポリシーを持って取り組んでいきたいと考えています。

## 小幡さんの誕生日



12月16日はスーパーSE小幡さんの誕生日でした。そこでサプライズとして、ケーキと、ネクタイがプレゼントされました。プレゼントを選んだ社員にネクタイのコンセプトを聞いたところ、「小幡さんに似合う大人で派手なデザイン」ということでした。

### 編集後記

今回は先月と同様、ワークグループ特集でした。この4つのワークグループが、アイロベックスの構築力の源となっています。

本年も、より一層のご支援を賜りますよう、社員一同心よりお願い申し上げます。

エリザベート石塚  
スイートピー則子  
ジンジャー牧野

